

## パブリックコメント意見募集の結果公表

第六期帯広市総合計画（原案）に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

## 【意見募集結果】

案 件 名	第六期帯広市総合計画（原案）		
募 集 期 間	平成21年9月14日（月）～ 平成21年10月13日（火）		
意 見 の 件 数 （意見提出者数）	120件（36人）		
意 見 の 取 り 扱 い	修正	案を修正するもの	3件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	29件
	参考	今後の参考とするもの	44件
	その他	意見として伺ったもの	44件
意 見 の 受 け 取 り	電子メール		8人
	郵送		1人
	ファクシミリ		12人
	直接持参		15人

## 【意見の内容】

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
【序論 2時代の潮流とまちづくりの課題 （4）地球環境を大切に作る社会】 地域の特性を活かし、雪を有効活用したまちづくりをすすめるべきである。	1	【修正】 北国の特性である雪や氷は、冷熱エネルギーへの活用など、まちづくりにおいて、様々な可能性を有しているものと考えており、雪や氷の活用について、その趣旨を加筆します。
【基本構想 2将来人口】 人口推計について、他市町村からの短期移住または転出・転入を含めた詳細な分析及び検討が必要である。	1	【既記載】 将来人口は、本市の人口が、出生数の減少と死亡数の増加、市外への転出超過などにより減少傾向にあることを踏まえ、本市が魅力あるまちづくりをすすめ、十勝圏はもとより東北道の広域的な中核都市としての役割を担っていくためにめざす人口として想定しているものです。

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>【基本構想 2 将来人口】 人口動態の現状を踏まえると、将来人口の17万人を達成することは難しい。</p>	2	<p>【その他】 将来人口は、本市が魅力あるまちづくりをすすめる、十勝圏はもとより東北地方の広域的な中核都市としての役割を担っていくためにめざす人口として想定しているものです。 なお、各施策を展開する上で用いる人口は、国の将来人口推計なども参考にしながら、過大とならないことなどに留意して、検討することとしています。</p>
<p>【基本構想 2 将来人口】 陸上自衛隊が縮小されると、人口にも大きな影響がある。国防だけでなく、災害派遣の必要性などを国に強く訴えていくことが必要である。</p>	1	<p>【参考】 自衛隊は、地域防災等のもとより、地域の振興・活性化などに協力いただいております。その維持・拡充について要望してきています。意見の趣旨は要望活動など、施策を推進する上で参考とします。</p>
<p>【基本構想 2 将来人口】 食料供給基地として、農業を基幹とした産業、自給自活の体制づくりを基本としたまちづくりをすすめるべきである。</p>	1	<p>【既記載】 「基本構想策定の基本的視点」において、地球環境問題や食料問題が世界的な課題となっている中で、豊かな自然に囲まれ、食料生産機能を有する農業・農村を基盤としたまちづくりの重要性について、その認識を記載しています。 また、「まちづくりの目標」においても、地域が今後も発展を続けていくために、基幹産業である農業を振興することの重要性等について記載しています。</p>
<p>【基本構想 4 基本構想策定の基本的視点 (1) 市民主体のまちづくり】 市民参加が強調されているのは大歓迎です。市民としてまちづくりへの参加の意識を鼓舞される、よい総合計画である。</p>	1	<p>【その他】 住民自治は地方自治の基本的な要素です。市民が主体の市民協働によるまちづくりをすすめる指針として、総合計画は今後も重要な役割を果たすものと考えています。施策を推進する上で市民の参画を一層促進していきます。</p>
<p>【基本構想 5 まちづくりの基本方向 (1) 都市像】 田園都市という言葉に込められている想いは、「環境」という言葉でくられる。将来に向け考えていかなければならないことのひとつが、「環境」である。</p>	1	<p>【その他】 第六期総合計画では、本市が一貫して掲げてきた都市と農村が調和する田園都市のまちづくりを継承していくことを基本としています。また、まちづくりにおいて環境の重要性が高まっていることから、都市像においても環境をキーワードの一つとして取り上げています。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>【基本構想 5まちづくりの基本方向 (1) 都市像】 人と環境に優しい活力ある田園都市という基本的な方向に賛成である。</p>	1	<p>【その他】 これまで帯広市が半世紀にわたり受け継いできた田園都市のまちづくりの理念を踏まえ、環境や人を大切に、活力ある産業を育て、将来に向かって持続的な発展をめざします。</p>
<p>【基本構想 5まちづくりの基本方向 (2) まちづくりの目標】 経済効果を尊重しながらも、教育・福祉・環境を犠牲にすることのないよう、各部門が連携し、8つのまちづくりの目標を有機的に結びつけてお互いに良い効果を与えていくよう期待する。</p>	1	<p>【参考】 8つのまちづくりの目標を達成するため、政策・施策の相互の関連性に配慮しながら取り組んでいきます。</p>
<p>【基本構想 5まちづくりの基本方向 (2) まちづくりの目標】 8つのまちづくりの目標間の相乗効果を生み出すために、重要なのは生涯を通しての教育であり、その結果として都市像が実現されると考える。</p>	1	<p>【既記載】 子どもから大人まで市民が生涯を通して学び、知識や経験を活かすことができる地域づくりをすすめることは、豊かな地域社会を形成するために重要なことであり、「生涯にわたる学びのまち」をまちづくりの目標の一つとしています。</p>
<p>【基本計画(総論編) 3都市形成の基本方向】 ハコモノ建設は今後、必要最小限にとどめるべきである。</p>	1	<p>【既記載】 持続可能な都市経営の観点から、社会基盤のストック活用や既存施設の長寿命化に取り組むこととしています。</p>
<p>【基本計画(総論編) 3都市形成の基本方向 (1) 都市地域】 環境都市である帯広市にとって、自然との共生は大変重要である。十勝川、札内川などの大きな河川、湧水、周囲に広がる森林地帯などの自然を最大限に利用した都市計画をすすめていくことが快適な生活や人が集まるまちづくりにつながる。</p>	1	<p>【既記載】 都市地域の土地利用については、市街地の拡大抑制を基調としたコンパクトな市街地形成をはかり、自然環境に恵まれた都市と農村が調和するまちづくりをすすめることとしています。</p>
<p>【基本計画(総論編) 3都市形成の基本方向 (1) 都市地域】 中心街の商店が減少しており、中心市街地の土地利用のあり方、郊外への住宅地の拡大を防ぐ土地利用のあり方、農用地を守る取り組みが必要である。</p>	1	<p>【既記載】 今後、コンパクトで持続可能な都市形成をすすめるため、市街地の拡大の抑制を基調として市街地内の未利用地の利用を促進するとともに、優良な農地を維持・保全することとしています。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>【基本計画(総論編) 3都市形成の基本方向 (1)都市地域】 高校や大学が街なかであればよい。</p>	1	<p>【その他】 都市の魅力を高めるため、中心市街地の活性化は重要な課題であり、そのためには、商業・業務、公共公益施設などの集積により、拠点性を高めていくことが必要と考えています。高校、大学は一定規模の敷地の確保が必要な施設と考えています。</p>
<p>【基本計画(総論編) 3都市形成の基本方向 (1)都市地域】 居住地を公共サービスの提供と固定資産税の負担度合いに応じて、3地域に分けて開発し、住む人の好みにより選択できるようにし、自治体として自立し健全な財政を持続するまちとすべきである。</p>	1	<p>【その他】 秩序ある土地利用をはかり、持続可能なまちづくりをすすめるため、都市地域については、都市機能の集積や快適な都市空間の創出をはかり、コンパクトな市街地形成をすすめるなど、今後、都市経営の視点をより重視した取り組みをすすめていきたいと考えています。</p>
<p>【基本計画(総論編) 3都市形成の基本方向 (1)都市地域】 これ以上の大型商業施設や大型遊戯施設、特に地元業者以外の施設は不要である。市街地内の未利用地の利用は住宅地造成への支援を中心にすべきである。 また、企業が撤退した後の工業地域の跡地利用は、大型商業施設ではなく工業関係の企業が利用する方向で誘導施策を行うことが重要である。</p>	1	<p>【その他】 都市地域の土地利用については、中心市街地の活性化や市街地内の未利用地の利用促進、良好な住環境の整備などにより、都市機能の集積や快適な都市空間の創出をすすめたいと考えています。 市街地内の未利用地については、市民が快適に暮らせる住環境づくりをすすめるため、民間事業者が行う宅地造成への支援などをすすめたいと考えており、大規模集客施設の立地については、商業地域及び近隣商業地域になっている中心市街地への誘導をすすめていく考えです。</p>
<p>【基本計画(総論編) 3都市形成の基本方向 (2)農村地域】 農用地の未利用地、空き地等の有効利用を促進するため、農家戸数の統計や後継者等の分析を行い、対策を講じるべきである。</p>	1	<p>【その他】 農地については、農業基盤整備や農地の集約化、流動化により生産性を高めながら維持・保全していくことが必要と考えています。</p>
<p>【基本計画(総論編) 4政策・施策評価】 評価のためのアンケート項目は、当事者の細かい実感や市民の不満と不安を具体的に把握できる調査方法にしてほしい。また評価の際には、計画どおりに実行するだけでなく、軌道修正した場合にも肯定的な評価を行ってよい。</p>	1	<p>【参考】 第六期総合計画では、計画を効果的・効率的に推進するため、政策・施策目標の達成状況について、成果指標や市民実感度を活用し、評価することを記載しています。意見の趣旨は市民実感度の調査を行う際の参考とします。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>【政策 1-2 安心して生活できるまちづくり】 「安心して生活できるまちづくり」をすすめる上では、地域のかかわりを明らかにして、住民の共通理解を得ながら推進できるようにしてほしい。</p>	1	<p>【参考】 安心して生活できるまちづくりをすすめるため、行政や関係機関、地域と連携して取り組むこととしています。地域の役割などについて住民の理解をいただくことが必要であり、意見の趣旨は施策を推進する上での参考とします。</p>
<p>【施策 1-1-1 地域防災の推進】 最近、地震が国の内外を問わず多発していることから、地域防災の整備・充実を推進してほしい。</p>	1	<p>【既記載】 市民が安全に暮らせる災害に強いまちづくりをすすめるため、防災体制の整備や建物等の耐震化など、地域防災を推進することとしています。</p>
<p>【施策 1-1-1 地域防災の推進】 避難所は、学校統廃合により変化するため、宗教団体の施設の利用協力を含め、今後の防災計画の練り直しが必要である。</p>	1	<p>【参考】 避難所については、地域防災計画に基づき、通学区との整合など地域の実情を踏まえ指定しており、必要に応じて適切な見直しが必要と考えています。意見の趣旨は施策を推進する上での参考とします。</p>
<p>【施策 1-1-1 地域防災の推進】 各避難所の暖房・電気・水道・トイレなど冬の対策も考慮し、設備の充実をはかることが必要である。また、災害時の支援者マップ作りなど、きめ細かな対応が必要である。</p>	2	<p>【参考】 避難所については、積雪寒冷などの地域特性を踏まえて整備に取り組むこととしています。意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。</p>
<p>【施策 1-1-1 地域防災の推進】 防災、災害時に有用となる通信の整備を期待する。</p>	1	<p>【既記載】 災害時における関係機関等との通信を確保するため、防災体制づくりの一環として、通信体制の整備をすすめることとしています。</p>
<p>【施策 1-1-2 消防・救急の充実】 民間の消防団の育成が必要である。</p>	1	<p>【既記載】 地域住民により構成される消防団は地域防災の大切な担い手であり、消防団員の確保や教育訓練の実施などにより、消防団活動を充実することとしています。</p>
<p>【施策 1-2-2 交通安全の推進】 横断歩道や一時停止での弱者優先など、歩行者と自転車にやさしい運転を街を挙げて徹底することが必要である。</p>	1	<p>【参考】 関係機関・団体と連携して、交通安全意識の啓発に取り組むことを記載しており、意見の趣旨は事業を実施する際の参考とします。</p>
<p>【施策 1-2-2 交通安全の推進】 西17条北3丁目の国が管理する河川敷で、堤防上の交通安全を確保するため国に依頼し、交通規制の看板を設置することが必要である。</p>	1	<p>【参考】 安全な交通環境の整備をすすめるため、交通標識や信号機など、交通安全施設の整備を促進することを記載しており、意見の趣旨は事業を実施する際の参考とします。なお、ご指摘の箇所については、現状を調査の上、関係機関への要請など適切に対応したいと考えています。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>【施策 1-2-2 交通安全の推進】 住民の協力のもと、地域ごとに危険箇所を示したマップを作成し公開してほしい。</p>	1	<p>【参考】 市民の交通安全意識の啓発をはかるため、交通安全に関する様々な情報提供を行いたいと考えています。意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。</p>
<p>【Ⅱ 健康でやすらぐまち】 高齢者や児童に対してもう少し医療費の負担を減らしてほしい。</p>	1	<p>【その他】 高齢者や子育て世帯など、誰もが安心して医療を受けられるよう、国民健康保険の被保険者の負担軽減や子育て家庭への医療費の支援に、引き続き取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>【政策 2-1 健康に暮らせるまちづくり】 健康や医療に関するこれまでの方針をさらに良いものにしてほしい。</p>	1	<p>【その他】 市民が健康で生き生きと暮らせるよう、健康維持や疾病予防の推進、地域医療体制の充実などに引き続き取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>【施策 2-1-1 保健予防の推進】 禁煙運動の展開や栄養面での食生活の改善、健康推進の運動、保健福祉センターの利用促進により、「健康宣言都市」をめざすべきである。</p>	1	<p>【参考】 市民の健康づくりを促進するため、生活習慣病予防のための保健指導や食生活の改善、運動習慣の普及啓発について記載しており、意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。</p>
<p>【施策 2-1-2 医療体制の充実】 気楽に健康の事を相談出来る病院がなく不便である。</p>	1	<p>【その他】 健康に関する相談活動を充実するとともに、安心して医療を受けられる環境づくりのため、地域医療体制や救急医療体制の充実に取り組むこととしています。なお、健康に関する施策については、パンフレット等により周知に努めています。</p>
<p>【政策 2-2 やすらぎのあるまちづくり】 地域福祉におけるボランティアの活動など、まだまだ市民に理解されていない面があるので、広報活動や呼びかけをしてほしい。</p>	1	<p>【既記載】 地域住民がともに支え合う地域社会づくりに向け、市民一人ひとりがボランティア活動に参加しやすい環境づくりや、ボランティア団体の育成、活動支援などを行うこととしています。その活動内容についても広く周知していきたいと考えています。</p>
<p>【施策 2-2-1 地域福祉の推進】 地域福祉と子育て支援を各町内会単位に行えないか。、高齢者の家への引きこもりをなくすためにも、町内会単位で集える場所を設けるなど、高齢者の利便性を高めてほしい。</p>	1	<p>【その他】 高齢者が地域で生きがいを持って生活できるよう、交流機会を提供するとともに、地域での子育て支援を充実することとしています。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>【施策 2-2-2 高齢者福祉の推進】 特老施設が少ないため、300～400名待ちで困っている家族はたくさんいる。また、施設で働く職員は一生懸命やっているが報酬が少なすぎる。</p>	1	<p>【既記載】 特別養護老人ホームについては、多くの方が入所を待っている現状にあり、民間事業者と連携し各種施設の整備を促進することとしています。また、雇用環境の改善など、勤労者が生き生きと働くことができる環境づくりをすすめることとしています。</p>
<p>【施策 2-2-2 高齢者福祉の推進】 社会保障の仕組みなど、行政から送られてくる内容が分かりにくいことがあり、そうした場合にフォローできるシステムの整備など独居老人に対するケアを充実してほしい。</p>	1	<p>【参考】 高齢社会の進展などにより高齢者の単独世帯が増加しており、民生委員やボランティアなどとの連携により、ひとり暮らしの高齢者を地域で見守る体制を充実することを記載しています。意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。</p>
<p>【施策 2-2-2 高齢者福祉の推進】 高齢化に対応するため、福祉・医療等の充実をはかり、安心して暮らせるまちにしたい。</p>	1	<p>【その他】 高齢化の進行に伴い、地域医療体制の充実や安定した社会保障制度などにより、安心して暮らせる環境づくりをすすめていくことが必要となっています。生涯を通して健康で安心して暮らしていくことができるまちづくりをすすめていきたいと考えています。</p>
<p>【施策 2-2-4 社会保障の推進】 ホームレスを保護し自立させるとともに、偽装生活保護者などをなくすべきである。</p>	1	<p>【既記載】 生活に困窮している市民に対し、必要な保護を行い、自立を促進していくため、生活保護制度を適正に運用し、要保護者の早期把握、生活保障、自立支援をすすめることとしています。</p>
<p>【施策 2-2-4 社会保障の推進】 後期高齢者医療制度は廃止するよう、国に要請していくべきである。また、廃止されるまでの期間は負担軽減の継続を行うことを記載すべきである。</p>	1	<p>【その他】 医療保険制度については、後期高齢者医療制度を含めて、制度の一本化による安定的で持続可能な制度の構築を国に要請していきたいと考えています。今後の国の動向を見定めながら、後期高齢者医療制度の運用について、対応していきたいと考えています。</p>
<p>【政策 2-3 子どもたちが健やかに育つまちづくり】 次代の帯広を担う子どもたちの健全育成は大切だが、住民意識はまだ低いので、ボランティア養成などに取り組むべきである。</p>	1	<p>【修正】 子どもたちの健全育成をすすめる上で、指導を行うボランティアの活動は重要と考えています。ボランティアの育成をすすめていくことも含めて、家庭、地域、学校などと連携し意識啓発や環境整備をすすめることを記載していますが、趣旨が明確になるよう加筆します。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>【施策 2-3-1 子育て支援の充実】 女性が出産しても安心して働くことができるように、0歳児や子どもが病気になったときに預かってくれる保育施設の整備など、子育て支援を充実してほしい。</p>	1	<p>【参考】 乳児保育や病後児保育など多様化する子育てニーズに対応していくため、保育サービスの充実について記載しています。意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。</p>
<p>【施策 2-3-1 子育て支援の充実】 児童保育センターの定員を増やし、施設の充実や保育士の増員をはかってほしい。また、4年生以上の希望する児童の児童保育センターへの入所を検討してほしい。地域で活動する育児サークルが公共施設を使用する際の使用料補助を拡充してほしい。</p>	1	<p>【参考】 児童保育センターについては、保育需要を踏まえながら整備をすすめることとしており、意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。なお、育児サークルについては、対象となる公共施設の利用料を無料としており、今後も、引き続き、サークル活動の支援を行っていきます。</p>
<p>【施策 2-3-1 子育て支援の充実】 病児を安心して看病するために職場の受け入れ態勢が充実されるよう市で働きかけてほしい。</p>	1	<p>【既記載】 育児休業制度をはじめ、従業員や市民に対する育児応援に取り組む事業所の普及に取り組むなど、関係機関と連携しながら、仕事と子育てが両立できる環境づくりを促進することとしています。</p>
<p>【施策 2-3-2 青少年の健全育成】 野草園は種類も多く野草名が表示されているなど感心している。今後も良好な保安全管理を一層継続してほしい。</p>	1	<p>【その他】 野草園につきましては、自然に触れ、自然について学ぶことができる貴重な財産として、今後も適切に管理していきます。</p>
<p>【施策 3-1-1 農林業の振興】 家畜や飼育頭数の把握・推計などをもとに、農業を観光、食料自給率、娯楽、教育など多方面からとらえ、景気対策や税収の増加につなげることが必要である。</p>	1	<p>【その他】 農業は、酪農・畜産分野を含め、帯広・十勝の基幹産業として重要な役割を果たしており、生産性の向上や付加価値の向上をすすめるとともに、環境や教育、観光など農業の持つ様々な機能を広くまちづくりに活かしていきたいと考えています。</p>
<p>【施策 3-1-1 農林業の振興】 管内の温泉地への販売等により、農畜産物の地産地消を推進し、十勝ブランドの確立により付加価値の創出をはかるべきである。</p>	2	<p>【既記載】 安全で良質な農畜産物の生産や付加価値向上などの取り組みにより、地域ブランドづくりをすすめるとともに、生産者や消費者との交流による農業・農村への理解をすすめ、地産地消を推進することとしています。</p>
<p>【施策 3-1-1 農林業の振興】 ばんえい競馬は市民の財産であり、観光面での振興を推進し、ぜひ存続してほしい。</p>	1	<p>【既記載】 ばんえい競馬については、世界で唯一の貴重な文化遺産や重要な観光資源として、その振興をはかることとしています。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>【施策 3-1-1 農林業の振興】 「安全良質な農畜産物を供給するため、農薬や化学肥料の低減をすすめ」とあるが、農薬の使用と安全、良質とはリンクするものではないので、消費者が誤認しない表現とすべきである。</p>	1	<p>【修正】 クリーン農業の取り組みなどをすすめ、環境との調和や安全で良質な農畜産物の生産を推進するという意図が明確になるよう修正します。</p>
<p>【施策 3-1-1 農林業の振興】 化学肥料の低減をすすめるため、有機質肥料の成分評価(肥料養分)を推進する必要がある。</p>	1	<p>【参考】 安全で良質な農畜産物の生産振興に取り組むことについて記載しています。 適正なほ場管理や生産コスト低減のためには、ほ場に投入する有機物の成分分析と土壌分析に基づく施肥設計を推進していくことが必要と考えており、意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。</p>
<p>【施策 3-1-2 工業の振興】 工場の誘致や地元企業の支援などによる、働く場の確保・拡大が重要である。</p>	1	<p>【既記載】 生活の安定のため、雇用の場の確保は大きな課題であり、企業立地を促進するとともに、地場工業の振興をはかることとしています。また、創業・起業の支援や経営基盤の強化など、中小企業の支援に取り組むこととしています。</p>
<p>【施策 3-1-2 工業の振興】 市街地に隣接し、交通アクセス性がよい帯広西20条北工業団地の優れた立地環境を発信し、企業誘致に取り組んでほしい。</p>	1	<p>【既記載】 企業が立地しやすい環境づくりをすすめるとともに、地域特性や地域資源を活かした企業立地の促進に取り組むこととしています。</p>
<p>【施策 3-1-3 商業の振興】 新しい発想で、人を集めるために、ハード、ソフト両面からの商業振興の取り組みが必要である。</p>	1	<p>【参考】 地域住民に親しまれる商店街づくりのため、中心市街地活性化基本計画に基づき商店街の基盤整備をすすめるとともに、各種団体や商店街による活性化の取り組みに対し支援していくこととしています。意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。</p>
<p>【施策 3-1-3 商業の振興】 中心街の商業経営者と駐車場経営者が話し合い、一定期間、駐車料金を30分無料とし、これを誘引に中心街の賑わいづくりをすすめる必要がある。</p>	1	<p>【参考】 中心市街地の活性化をはかるため、都市機能の集積促進やイベントの開催の支援などを通してにぎわいを創出することを記載しています。意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>【施策 3-1-5 産業間連携の促進】 十勝の基幹産業である農業を核として産学官や商工業が連携することにより、新産業を生み出し、雇用の確保・拡大や地域経済の振興につながり、さらに人口増加、活力ある住みよいまちの創造につながる。市民も行政を目標を共有し、まちづくりに協力したい。</p>	1	<p>【既記載】 地域が発展し、市民の豊かな暮らしを支えるためには、経済基盤の安定が必要です。農業の振興をはじめ、農商工連携や産学官連携などにより、地域産業の振興に取り組むこととしています。</p>
<p>【施策 3-1-6 雇用環境の充実】 農業就農希望者を職業訓練し、繁忙期に派遣することにより、安定した人材供給をはかれる。</p>	1	<p>【参考】 関係機関等との連携により、雇用の拡大をはかるとともに、求職者等の職業能力開発の促進等に取り組むことを記載しています。また、新規就農希望者に対しては、随時、支援を行っており、意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。</p>
<p>【施策 3-1-6 雇用環境の充実】 優れた人材を集めるため、経営者の姿勢、待遇など、行政として、「人の集まる職場とは」のあるべき姿を示す必要がある。</p>	1	<p>【その他】 誰もが生き生きと働くことができる雇用環境づくりとともに、経営者を含めた幅広い人材育成事業をすすめていくことが重要と考えています。</p>
<p>【施策 3-1-6 雇用環境の充実】 農林業はある程度活気があるが、他はあまり活気があるとは思えない。雇用状況を何とかする必要はある。</p>	1	<p>【既記載】 景気の低迷に伴う企業の経営環境の悪化などにより、地域の雇用は厳しい状況にあります。このため、企業立地の促進や地場工業の振興、創業・起業の支援や経営基盤の強化などの中小企業の支援に取り組むこととしています。</p>
<p>【施策 3-2-1 中心市街地の活性化】 歩行者天国の日に、西2条南7丁目の本通りを買い物観光ツアー用の観光バス駐車場にしたらよいのではないかと。</p>	1	<p>【参考】 中心市街地の活性化をはかるため、大規模な集客やにぎわいを創出する取り組みを支援することを記載しています。観光客が中心市街地などに長く滞在できる取り組みは大切なことであり、現在も西4条高架下に観光バス専用駐車場を設けていますが、意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。</p>
<p>【施策 3-2-1 中心市街地の活性化】 中心市街地の活性化は待ったなしの状況にあり、早急な取り組みと実効ある対策を講じてほしい。</p>	1	<p>【その他】 市街地の拡大や大型店の郊外立地などにより、中心市街地の衰退がすすんでいます。帯広・十勝の顔として、利便性の向上とにぎわいを創出するため、関係団体などと連携しながら、活性化の取り組みをすすめていく考えです。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>【施策 3-2-1 中心市街地の活性化】 市、商店街、一般市民が一体となったイベントの雰囲気を作ることが必要であり、ホコテンにもっと予算的な支援があってもよいのではないか。</p>	1	<p>【その他】 市民や団体が主体的に取り組むイベントの開催など、大規模な集客やにぎわいを創出する取り組みの支援などにより、中心市街地の活性化に取り組む考えです。</p>
<p>【施策 3-2-1 中心市街地の活性化】 中心市街地は、南北の距離が長いので移動に不便である。放置自転車を活用し、中心市街地で「乗り捨て自転車」を実施したらよいのではないか。</p>	1	<p>【参考】 中心市街地の活性化をはかるため、大規模な集客やにぎわいを創出する取り組みを支援することを記載しています。現在、観光客向けのレンタサイクル事業を実施していますが、意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。</p>
<p>【施策 3-2-2 観光の振興】 観光振興の取り組みとして、地域の名所・名物を発掘して、徒歩や自転車で廻れるグルメマップの作成や動物園、緑ヶ丘公園、菓子店などを巡る巡回バスの運行などを実施したらよいのではないか。</p>	1	<p>【参考】 自然や農業、食文化など、魅力ある地域資源を活かした観光振興の取り組みをすすめることを記載しています。現在も市内を巡る仕掛けとしてスイーツのクーポン券やモデルルートを提案するマップの発行などを行っていますが、意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。</p>
<p>【施策 3-2-2 観光の振興】 高速道路のインターチェンジ周辺に道の駅を設置して、地域の文化、歴史、名所、特産物などを情報提供したらよいのではないか。</p>	1	<p>【参考】 国内外の観光関連事業者などへの情報提供などを通して、地域の魅力ある観光情報を提供するとともに、関係機関と連携した物産展の開催などにより、物産振興をはかることを記載しています。意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。</p>
<p>【施策 3-2-2 観光の振興】 通過型にならない滞在型観光のアイデアを考えることが必要である。</p>	1	<p>【既記載】 本市の観光は通過型が多い現状にあることから、自然や農業、食文化など、魅力ある地域資源を活かした体験・滞在型の取り組みをすすめることとしています。</p>
<p>【施策 4-1-1 地球環境の保全】 地球環境を守るまちづくりの取り組みはよいと思う。</p>	1	<p>【その他】 市民の意識啓発をはじめ、豊かな自然環境の保全、温室効果ガスの排出抑制やごみの減量化・資源化などに取り組み、地球環境を守るまちづくりをすすめていく考えです。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>【施策 4-1-1 地球環境の保全】</p> <p>ペットの里親探しの取り組みについて、積極的な広報活動が必要である。殺処分に関して、以前、緑陽高校が署名活動を行ったが、市として何らかの対応を行ったのか。おびひろ動物園は、集客施設のみの視点ではなく、動物と人間の関係を考える場として、今後、動物愛護の考え方を柱として取り上げてほしい。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>保護された動物の里親探しなど、動物の愛護や管理にかかわる取り組みは、十勝支庁が行っています。緑陽高校の放送局からは、こうした十勝支庁の取り組みのPRや施設等での動物愛護の啓蒙活動を行うことについて要望をいただいたところですが、市としても取り組みのPRなど、十勝支庁の活動に協力しています。また、おびひろ動物園においても、傷病鳥獣の保護をはじめ、イベント、動物とふれあう機会の提供などに取り組んでいます。</p>
<p>【施策 4-1-1 地球環境の保全】</p> <p>環境モデル都市として、空き缶などの投棄を防止するポイ捨て条例を制定し、光るきれいなまちにすることが必要である。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>快適な生活環境を維持するため、環境美化活動の促進に取り組むことを記載しています。条例制定も一つの方法ですが、きれいなまちにするためには、市民ひとり一人の意識を高めることが大切であり、意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。</p>
<p>【施策 4-1-1 地球環境の保全】</p> <p>中央公園のトイレなど街や公園の美化をすすめるべきである。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>環境美化活動などの促進や公園などの適切な管理について記載していますが、意見を踏まえ、今後も市民と協働しながら美化活動に取り組むとともに、公園施設を適切に管理していきます。</p>
<p>【施策 4-2-1 公園・緑地の整備】</p> <p>緑ヶ丘公園は、降雨後は、勾配のある歩道や木陰でつづら折歩道に滑りやすいところがある。滑り止めに小砂利を薄くまくなど対策をしてほしい。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>公園や緑地、街路樹などの適切な管理を行うことを記載しており、意見の趣旨を踏まえ、利用者の視点に立って適切に管理していきます。</p>
<p>【施策 4-2-1 公園・緑地の整備】</p> <p>公園整備の補助金を増額してほしい。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>公園を適切に管理していくため、今後も地域と連携しながら、安全で安心して公園等を利用できる環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>【施策 4-2-2 水道水の安定供給】</p> <p>「帯広のおいしい水」をどんどん売り出してほしい。</p>	1	<p>【既記載】</p> <p>今後も、イベントなどを通し、安全でおいしい水をPRしていくことを記載しています。</p>
<p>【施策 5-1-1 住環境の充実】</p> <p>敷地内で雪の処分ができないような狭い住宅地の開発は抑制することが必要である。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>大規模な宅地開発の場合、地域によっては地区計画に基づく敷地面積の最低限度や壁面後退の設定などにより、ゆとりある住空間が確保されるよう誘導しています。意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>【施策 5-1-1 住環境の充実】 委員会を立ち上げて議論を積み重ね、帯広にふさわしい、環境負荷が少ない景観に配慮した帯広スタイルの住宅を提案することが必要である。</p>	1	<p>【参考】 住環境の充実や環境負荷低減の観点から、省エネ住宅などの普及促進に取り組むことを記載しており、意見の趣旨は事業を実施する際の参考とします。</p>
<p>【施策 5-1-2 魅力ある景観の形成】 景観整備機構を設置し、景観意識の向上や、景観育て・景観の担い手づくりなど、具体的な景観形成の取り組みをすすめるべきであり、都市景観と農村景観の両方を有する帯広市において、田園都市、環境都市の実現につながるものとする。</p>	1	<p>【参考】 魅力ある景観の形成に向けて、都市景観と農村景観の両面から、帯広・十勝らしい景観づくりに取り組んでいくことを記載しており、意見の趣旨は事業を検討する上での参考とします。</p>
<p>【施策 5-2-1 道路網の整備】 市内の南北に通る道路を早く整備してほしい。また、除雪をもっと早くやってほしい。</p>	1	<p>【参考】 円滑な道路交通を確保するため、幹線道路の整備をすすめることや除排雪体制の充実に取り組むことを記載しています。意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。</p>
<p>【施策 5-2-1 道路網の整備】 高齢者が車イスなどで一人で外出した時に困ることなく、介護している人達も安心して通れるように歩道を整備してほしい。</p>	1	<p>【既記載】 誰もが支障を感じることなく、安全で安心して暮らせるユニバーサルデザインの考え方に基づくまちづくりをすすめることとしています。特に、道路は市民の日常生活を支える社会基盤であり、歩行者を含め安心して利用できる道路整備をすすめることとしています。</p>
<p>【施策 5-2-1 道路網の整備】 新規道路、道路の拡張はもう必要がない。</p>	1	<p>【その他】 都市計画道路については、計画的な整備をすすめています。計画決定から、長期にわたり未整備となっている路線は、その必要性などに変化が生じている可能性があります。このため、改めて必要性を検証し、適切な見直しを行った上で、必要な道路の整備をすすめていきたいと考えています。</p>
<p>【施策 5-2-1 道路網の整備】 中央分離帯の雑草がかなりの高さまで伸びたまま放置されており、横断する人が見えずに危険である。既存道路の管理をしっかりとしてほしい。</p>	1	<p>【参考】 道路については、適切な維持管理について記載していますが、安全で快適な道路環境を確保するため、意見の趣旨を踏まえ、今後、適切に管理していきます。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>【施策 5-2-1 道路網の整備】 除雪の状況が悪く、家の前の除雪が終わった後に大量の雪を置いていくような除雪のやり方を改善してほしい。</p>	1	<p>【参考】 安全で快適な道路環境を確保するため、道路の除排雪体制の充実を記載しています。新雪の除雪は主に雪をかき分ける作業であり、主に深夜から通勤・通学の時間までに終了することを目標としています。除雪に際しては、市民の協力は必要と考えていますが、ご意見の趣旨を踏まえ迅速な作業に努めたいと考えています。</p>
<p>【施策 5-2-1 道路網の整備】 自転車の通行区分を設定し、自転車をもっと利用できる環境を整備してほしい。</p>	1	<p>【参考】 交通安全や環境保全を推進する観点から、自転車・歩行者道の整備などをすすめることを記載しています。歩行者と自転車の分離は、自転車・歩行者の安全な利用環境を確保するために大切なことと考えており、意見の趣旨は事業を検討する上での参考とします。</p>
<p>【施策 5-2-1 道路網の整備】 地域によっては雨水が住宅地に流れ込む苦情が多く、「道路網の整備」に「雨水管渠の整備」について記載が必要である。</p>	1	<p>【既記載】 安全で快適な市民生活を維持するため、雨水施設の整備をすすめることを記載しています。市民要望を踏まえながら、計画的に雨水施設の整備をすすめていく考えです。</p>
<p>【施策 5-2-2 総合的な交通体系の充実】 帯広・広尾自動車道のこれ以上の延伸は必要なく、現国道の拡幅で充分である。</p>	1	<p>【その他】 北海道横断自動車道と接続し、重要港湾十勝港やとかち帯広空港を結ぶ帯広・広尾自動車道は、農業や観光など地域産業の振興や、救急医療搬送時間の短縮、災害時の代替路の確保などの役割が期待されている重要な社会基盤であり、今後も整備を促進する必要があると考えています。</p>
<p>【施策 6-1-1 学校教育の推進】 帯広ならではの教育目標の設定や実践をめざしてほしい。</p>	1	<p>【既記載】 地域の特性や学校の創意工夫を活かした教育活動をすすめるとともに、帯広・十勝の特性を活かした多様な体験活動などを通して、子どもたちの生きる力を育む教育をすすめることとしています。</p>
<p>【施策 6-1-1 学校教育の推進】 「学校給食における地場産野菜の導入率」の向上のためには、給食調理場は自校方式または親子給食など小規模化が必要である。</p>	1	<p>【その他】 学校給食は子どもたちに食に関する正しい知識や食習慣を身に付けさせる食育を推進する上での生きた教材であり、安心安全の観点から地場産野菜の拡大をすすめることが必要と考えています。学校給食共同調理場については、学校給食の役割について総合的に考慮し、今後、推進計画の策定において具体的な取り組みを検討し示していきます。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>【施策 6-1-1 学校教育の推進】 学校が荒れているとよく聞く。地域の未来のためにも、子どもが健全に育つことが大切であり、魅力ある学校教育を強く希望する。また、子どもへの愛情と情熱のある教師を採用してほしい。</p>	1	<p>【参考】 地域の特性や学校の創意工夫を活かした教育活動をすすめるとともに、子どもたちや保護者、地域に信頼される人間性豊かな教師を育成していくことを記載しています。意見の趣旨は施策を推進する上での参考とします。</p>
<p>【施策 6-1-2 教育環境の充実】 学校の耐震化を早急にすすめてほしい。また、各学校の危険度、今後の耐震工事予定などを知らせてほしい。</p>	1	<p>【その他】 子どもたちが安全で安心して学ぶことができる環境づくりは喫緊の課題であり、学校施設の改修・改築、耐震化をすすめることとしています。事業については、現在、既に着手しており、校舎の耐震診断結果をもとに、毎年策定する推進計画において具体的な取り組みを示していきます。</p>
<p>【施策 6-1-2 教育環境の充実】 小・中学校の統廃合は当然必要なことであり、その具体案を示してほしい。</p>	1	<p>【その他】 小・中学校の適正配置については、平成18年度に策定した基本方針に基づき、児童生徒数の推移を踏まえ、保護者や地域住民の理解を得ながら適正配置実施計画を策定し、すすめていく考えです。</p>
<p>【施策 6-1-2 教育環境の充実】 学校、家庭、地域の連携を推進する場、地域コミュニティの場として、学校の余裕教室の活用をすすめるべきである。</p>	1	<p>【参考】 学校・家庭・地域の連携を促進するため、余裕教室の有効活用をすすめることとしており、現在も児童保育センターや子どもの放課後対策などに活用しています。今後も、意見の趣旨を踏まえ、事業を実施していく考えです。</p>
<p>【施策 6-1-2 教育環境の充実】 次代を担う子どもたちのため、学校・教育関係にはもっと多くの予算を使うべきである。</p>	1	<p>【その他】 教育環境の充実をはじめ、保健・医療、福祉の充実、都市整備、産業の振興など様々な分野に総合的に取り組む必要があり、基本構想に示した都市像や8つのまちづくりの目標の実現に向け、着実に各施策を推進していくことが必要と考えています。</p>
<p>【施策 6-1-4 高等教育の充実】 高等教育機関を設置してほしい。推進計画を示し早急に取り組んでほしい。</p>	1	<p>【その他】 18歳人口の減少などにより、大学間競争が激化する中で、大学を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、高等教育の充実に向け、新たな大学の整備が必要と考えており、今後も取り組みをすすめていきたいと考えています。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>【施策 6-1-4 高等教育の充実】            新たな大学の誘致は難しいのではないかと。帯広・十勝にとって相応しい別の道を探った方がよい。</p>	2	<p>【その他】            大学は、人材育成のみならず生涯学習、産業など地域の振興に寄与するものであり、今後も、地域特性や優位性を活かしながら、新たな大学の実現に取り組んでいく考えです。</p>
<p>【施策 6-1-4 高等教育の充実】            新たな大学の整備や帯広畜産大学の整備拡充について記載しているが、抽象的でどのような取り組みをするのか分からない。</p>	1	<p>【その他】            帯広畜産大学の整備・拡充は、大学をはじめ、管内町村や関係機関などと連携をはかりながら、国に対し要望活動を行っています。また、新しい大学については、その実現に向けて、既存大学への誘致活動などを行っています。</p>
<p>【政策 6-2 とともに学び地域のきずなを育むまちづくり】            芸術鑑賞に対する助成金により、芸術に触れる機会を増やすほか、市民ギャラリーの個人に対する使用料を少しでも安くするなど、ともに学び地域のきずなを育むまちづくりについて、市民にアピールし、より一層の取り組みをすすめてほしい。</p>	1	<p>【その他】            芸術・文化の振興に向け、良質な芸術・文化に触れることができる鑑賞機会を提供するとともに、市民ギャラリーなどの文化施設の適切な管理運営をすすめていく考えです。</p>
<p>【施策 6-2-1 学習活動の推進】            動物園については、社会教育施設としか示されておらず、今後、どのように充実し、どのように活用していくのか示されていない。</p>	1	<p>【その他】            動物園を含めた社会教育施設については、適切に管理運営を行うとともに、施設間の連携などをすすめることとしています。具体的な取り組みは、今後、推進計画の策定において検討していきます。</p>
<p>【施策 6-2-3 スポーツの振興】            なぜ、スポーツ施設を全施設一斉に休館しなければならないのか。1週間に1日の休館日は他市町村に例がなく、必要性に疑問を持つ。スポーツ施設の運営について検討してほしい。</p>	1	<p>【その他】            スポーツ施設の休館日は、祝日の翌日や年末年始など一斉に休館となる日もありますが、例えば、総合体育館と帯広の森体育館のように類似する機能を持った施設が同一の休館日とならないように配慮しています。</p>
<p>【施策 6-2-3 スポーツの振興】            スケートツアーとばんえい競馬を組み合わせるなど、十勝オーバルを有効に活用することが必要である。</p>	1	<p>【その他】            屋内スピードスケート場は、スケートはもとより、中地を活用して、スポーツ、イベントなどに幅広く活用できる大規模屋内空間を有する施設です。今後、観光を含め、広くその活用をはかっていく考えです。</p>
<p>【施策 6-2-3 スポーツの振興】            合宿や各種大会の誘致に組み込み、スポーツを通して交流や賑わいづくりをすすめるため、「総合体育館を改築する」をさらに、一歩すすめて「総合体育館の早期改修」と修正し、さらに「研修センターの改修」も明記すべきである。</p>	1	<p>【その他】            総合体育館の改築の時期や内容など、具体的な取り組みについては、今後、推進計画の策定において検討していきます。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>【施策 6-2-3 スポーツの振興】</p> <p>少年団は青少年育成に寄与し、スポーツ活動の推進に大きな役割を果たすものであり、学校教育とスポーツ行政との連携を強化して「少年団活動の発展」を期するよう記載できないか。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>屋内体育館などの学校施設をスポーツ活動などに開放することを記載しており、学校とも連携をはかりながら、意見の趣旨を踏まえ、施策を推進していく考えです。なお、少年団活動にかかわる取り組みはスポーツ活動を促進するための具体的な取り組みと考えており、今後、推進計画の策定において検討していきます。</p>
<p>【施策 6-2-3 スポーツの振興】</p> <p>健全な青少年の育成、スポーツ人材の育成等の観点から、少年団活動や総合型地域スポーツクラブの育成・強化について記載できないか。総合型地域スポーツクラブが本文に記載されていないのに、成果指標で「総合型地域スポーツクラブ設置数」が出てくるのは唐突である。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>少年団活動や総合型地域スポーツクラブについては、スポーツ活動を促進するための具体的な取り組みと考えており、今後、推進計画の策定において検討していきます。</p>
<p>【施策 6-2-3 スポーツの振興】</p> <p>帯広市に新しいスケートリンクができ大変うれしく思う。スケートを通して帯広の名が世界に知れ渡るよう取り組んでほしい。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>国内2番目の屋内スピードスケート場は、冬季スポーツ振興の拠点となる施設であり、今後、広く活用していく考えです。冬季スポーツの拠点性を高め、スポーツの振興や幅広い交流を促進することを記載しており、意見の趣旨は施策を推進する上での参考とします。</p>
<p>【政策 7-1 互いに尊重し思いやりのあるまちづくり】</p> <p>市民全員に市民憲章を浸透させることが必要である。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>市民憲章は、市民が郷土愛を培い、相互のきずなをさらに強めるための共通の規範であり、まちづくりすべてに通じるものであると考えています。今後も様々な機会をとらえて市民への浸透に努めていきたいと考えています。</p>
<p>【施策 7-2-1 地域コミュニティの形成】</p> <p>地域コミュニティの形成をはかるため、思いやりとふれあいのある地域づくりの取り組みを支援してほしい。例えば「モデル地域」を選定し、普及に努め、住みよいまちづくりを推進していくことも必要である。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>地域のコミュニティ活動を促進するため、町内会などの自主的な活動を支援することを記載しています。特に他のモデルとなるような取り組みは、広く普及させていくことも必要であり、意見の趣旨は事業を検討する際の参考とします。</p>
<p>【施策 7-2-1 地域コミュニティの形成】</p> <p>町内会加入者や行事参加者が減少しており、各種情報の提供など、自治組織とはいえ、存在意義を考え、行政は積極的に介入することも必要である。</p>	2	<p>【既記載】</p> <p>地域活動の中心的な役割を担っている町内会では、加入率の低下や高齢化など、組織の再生や活動の活性化が必要となっており、その意義を踏まえ、町内会への加入促進や活動の支援を行うこととしています。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>【施策 7-2-1 地域コミュニティの形成】 高齢者が多い町内会が増えている。助成金を多くしてほしい。</p>	1	<p>【その他】 町内会に対する交付金は、町内会が自ら積極的に活動し、住民自治の実現をはかるため、地域的課題解決に対する支援、広報配布手数料などとして、世帯数をもとに交付しているものです。今後も引き続き、交付金を含めて、町内会活動を支援していく考えです。</p>
<p>【施策 7-2-2 国内・国際交流の推進】 移住促進の取り組みを強化していくことが必要であると思う。中心街への移住を促進するもよいのではないかと。</p>	1	<p>【既記載】 移住等に関する情報提供や相談体制を整え、本市への移住等を促進することとしています。</p>
<p>【施策 8-1-1 市民協働のまちづくりの推進】 市民協働をすすめるためには、広報紙でのお知らせだけではなく、担当者が地域を回るなどにより、市民の本当の姿を知り、市民の共感を得ることが必要である。</p>	1	<p>【参考】 市民協働のまちづくりをすすめるためには、広聴機能の充実や市民との情報共有が重要であり、情報提供や様々な機会を通して市民意見を把握することを記載しています。出前講座、各種説明会など職員が市民と直接対話する機会も大切なことと考えており、意見の趣旨は事業を実施する上での参考とします。</p>
<p>【施策 8-1-1 市民協働のまちづくりの推進】 職員はもっと市民の中に出向くことが必要であり、市民ももっと市役所に出向くことが必要である。市民を市役所に呼び込むことを考えてはどうか。</p>	1	<p>【参考】 広聴機能の充実をはかるため、様々な機会を通じた市民意見の把握について記載しています。出前講座、各種説明会など職員が市民と直接対話する機会の充実とともに、市民に親しまれる市役所づくりも大切なことと考えており、意見の趣旨は施策を推進する上での参考とします。</p>
<p>【施策 8-1-1 市民協働のまちづくりの推進】 広聴機能を充実するため、病院やスーパーマーケットなどに、総合計画と評価に関するチラシや意見募集用紙、「市長への手紙」の用紙を設置してはどうか。</p>	1	<p>【参考】 広聴機能を充実するため、様々な機会を通して市民意見を把握することを記載しています。総合計画に対する意見や市長への手紙を市民から広く寄せていただくことも大切なことと考えており、意見の趣旨は施策を推進する上での参考とします。</p>
<p>【施策 8-1-1 市民協働のまちづくりの推進】 市民協働は市民と市政の互いの信頼関係があって成り立つものだと思う。スケート場建設のすすめ方や職員の市民対応など、行政に不信感を持っている市民は多い。こうした点について反省がなければ、「市民協働」という言葉は市民の心に響かない。</p>	1	<p>【参考】 協働のまちづくりをすすめるため、市民に信頼される市政をすすめることが重要と考えており、市民との情報の共有や広聴機能の充実、職員の能力向上などを通じた行政サービスの充実などについて記載しています。意見の趣旨を踏まえ、今後も取り組みをすすめていきます。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>【施策 8-1-2 自治体経営の推進】 実施した事業を振り返り、反省、分析し、未来に活かすため、公正な立場の市民により、事業検証委員会をつくり、事業の検証・分析を行い、その結果を同様な事業の議論材料にしたらいののではないか。</p>	1	<p>【その他】 市が実施する事業や行政運営の仕組み等について、これまでの取り組みを振り返り、必要な見直しを行っていくことは重要なことと考えています。今後も、継続的な行財政改革の取り組みを通して、効率的な行政運営をすすめていきたいと考えています。</p>
<p>【施策 8-1-2 自治体経営の推進】 市役所の仕事を見直して、大幅に人員や予算を考えなおす必要がある。行政サービスが低下しても、教育・保健衛生・福祉など必要な分野に予算を充てることができれば市民の理解は得られるのではないか。</p>	1	<p>【その他】 市役所が行う仕事について、その効果やコスト、必要性等について点検し、必要な見直しを行うことは、自治体経営をすすめる上で重要なことと考えています。今後も、政策・施策評価を行い効果的・効率的な政策・施策の推進に努めるとともに、継続的な行財政改革に取り組み、行政サービスを効率的かつ安定的に提供していきたいと考えています。</p>
<p>【施策 8-1-2 自治体経営の推進】 公的料金等の未納に対応するため、行政機関や民間で幅広い経験を持ち、生活・経営両面からコンサルタントできる人を生活相談連絡員（仮称）として、市が選任し、滞納の早期の段階で相談対応にあたることを提案する。</p>	1	<p>【参考】 市税等の収納率向上対策と合わせてきめ細かな納付相談などに取り組むこととしています。意見の趣旨は事業を実施する上で参考とします。</p>
<p>【施策 8-1-2 自治体経営の推進】 市民の所得を増やす施策が乏しい。この計画をすすめることにより、本当に市民の所得が増え、税収が伸び、健全な財政運営がすすめられたのか検証すべきである。「施策 8-1-2 自治体経営の推進」は、「合計所得階層別人数」など住民税の賦課状況などを活用した項目で評価すべきである。</p>	1	<p>【その他】 原案において設定している成果指標に基づき、施策の目標の達成状況を評価していく考えですが、政策・施策評価を行う際には成果指標のほか、市民実感度調査や補助的なデータなども用いながら評価を実施する考えです。 ご提案の項目は地域の状況を示す項目ではありますが、当該施策の評価に直接的に結びつくものではないことから、成果指標として活用することは難しいと考えています。</p>
<p>【施策 8-2-2 行政事務の適正な執行】 「(2) 行政事務の適正な執行」に「・市長の責務として、重要な施策決定の経過が分かる文書等を保管する。」と追加すべきである。また、文書等が適切に公開されるように「・『帯広市情報公開条例』に基づき、市民に公開する」と追加すべきである。</p>	1	<p>【既記載】 政策の決定経過にかかわるものを含め、公文書などの適正な管理を行うことを記載しています。また、情報公開については、条例に基づいた対応を前提として、行政情報の幅広い提供を行うことを記載しています。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p><b>【計画全般】</b>            抽象的で具体的な施策が書かれていない計画ではコメントできない。具体的な施策、数値目標、時間軸が入った計画を示してほしい。また、第三者の評価以外は真の評価とはいえない。</p>	1	<p><b>【その他】</b>            第六期総合計画は、まちづくりの基本方向を示す「基本構想」と、基本構想を実現するための政策・施策を示す「基本計画」、具体的な事務事業を示す「推進計画」で構成しています。            また、計画の推進にあたっては、毎年度、市民実感度調査などを活用した政策・施策評価を実施し、公表します。</p>
<p><b>【計画全般】</b>            施策を計画・実施するにあたって サービスの対象となる当事者の希望や実感が反映されるように説明会の開催等に配慮してほしい。</p>	1	<p><b>【参考】</b>            施策の実施にあたっては、事業の対象者をはじめ、多くの市民が意見を述べるができるよう、各種説明会等の開催はもとより、その実施方法についても工夫したいと考えています。また、市民実感度を政策・施策評価の一つの観点として活用する考えであり、意見の趣旨は施策を推進する上での参考とします。</p>